

2014年度第2回NPO法人共同保存図書館・多摩理事会

- 1 日時：2014年6月17日（火） 午後6時30分～午後9時
- 2 場所：国分寺労政会館3階第2和室（国分寺市南町3-22-10）
- 3 議決権のある理事：8名、出席理事：5名

出席者：座間直壯、堀渡、齊藤誠一、田中ヒロ、手嶋孝典

欠席者：平山恵三、清田義昭、矢崎省三

（事務局：蓑田明子）

4 報告及び協議事項

（1）第1号議案 会員の動向について

・2014年5月18日（総会日）現在 正会員100名3団体 賛助会員43名1団体 計147名・団体。

※以前からの会員で会費2年分滞納の方について、督促文を封入し依頼してきたが、5/10までに入金ない方を資格喪失者として会員名簿からはずした。正会員3名、賛助会員2名。

※新たな2名の入会があった。2名とも正会員。

→入会者から「入会時に定款を貰いたい」と要望・意見があった。新入会員への送付物リストに追加したい。多摩デポホームページでは公開してある。

→傾向として多摩地域の市民層の会員がやや減少した。新規入会2名は図書館関係者である。運動の立ち上げ期から注目し支えてくれた市民の方と切れるのは残念である。実際に資料を動かす共同保存が始まらなければ難しい面がある。各市に図書館へビュユーザーや、運営のあり方に関心を寄せる住民の方はたくさんおり、そうした方たちに新たに出会い理解を得られる活動を工夫していく必要がある。

（2）第2号議案 総会と総会記念講演について

・総会出席者 71名（本人出席26名、委任状出席45名）、賛助会員（議決権なし）1名

（当日、開会時に参加者69名と会場で報告したが、その後に参加があり、この数で確定）

記念講演会出席 33名（正会員26名、賛助会員2名、会員外5名）

懇親会出席 21名（正会員17名、賛助会員1名、会員外2名、講師1名）

- ・提案した4本の議案は、新年度の事業計画と予算も含め、すべて承認された。
- ・総会に大勢参加して議論に加わっていただきたいが、事業に顕著な進展がみられないと難しい。新たな事業を仕掛けていく必要がある。事業が動いてくると変わるのではないかな。
- ・新年度の事業として、「バーチャル共同保存図書館構想」の「テスト事業に着手」と説明した。それを具体的にすすめていく必要がある。
- ・議案書には記載できなかったが、総会当日の新年度事業の説明の中で「町田市から検索依頼がある」と具体的に報告でき、年度当初の取り組み予定が紹介できたことはよかった。
- ・全国図書館大会の公募型分科会への応募企画を実現し、全国と東京都に課題を提起していきたい。
- ・参加者から質問や意見を受ける時間をもっと長めに想定する必要がある。提案者からの回答がさらに次の意見・質問を呼ぶ、といった展開が望ましい。来年度は、任期の関係で役員変更も議題に加えねばならない。総会を開始する時刻を30分程度早めたい。

- ・松岡要氏の講演は、従来は当然と思われてきた日本の公立図書館の仕組みの様々な前提を問い直すもので、盛りだくさんの内容だった。自治体の図書館同士の連携、都と市町村の連携による共同保存の実現を目指す「多摩デポ」を意識され、2月の講座でお話しされた時よりも、広域連携

など「多摩デポ」の先を見据えた方向の話が中心になっていた。

- ・踏み込んだ内容で、市民に大勢参加していただくことは難しかった。若い図書館員の参加もあまりなかった。講師の声を会場全体に伝えるマイク調整が不十分だった。
- ・多摩デポブックレットにする予定なので、限られた文字数でどう重点的にまとめるか、松岡氏と相談する必要がある。
- ・内部学習会にお呼びしてきた、(株)カーリルの2名の方が、講演会と懇親会に参加された。
- ・懇親会は、参加者は昨年より少な目だったが、打ち解けた会になった。
- ・今後のスケジュール

：(役所用) 議事録・完成 → 署名人署名 → 事務所備付け

：(会員向け) 総会報告確定、印刷、発送 (6/8 作業済)

※送付挨拶文の中で、町田市からの横断検索依頼とボランティア募集について触れた。

(3) 第3号議案 関係諸官庁の手続きと納税について

- ・5/31 までに登記所へ資産の変更届 → 5/27 届出済
- ・5/31 までに武蔵府中税務署へ確定申告 → 5/23 済 (法人税0円)
立川都税事務所と調布市へ申告、納付 → 5/26 済 (法人住民税2万円、法人市民税5万円)
- ・6/30 までに東京都へ事業報告 → 6/6 提出済

(4) 第4号議案 除籍予定蔵書の検索作業依頼について

- 6/1 付で町田市立図書館より依頼書が届いた。(依頼は全1,705件。うち、ISBNなし152件。検索結果の納期は7月一杯)。
- 総会で報告、通信30号の記事、会員MLで検索ボランティアを募集したが反応がないので、前回までのボランティアの一部に声をかけると同時に、再度、会員MLに募集を流した。数名の方が応募してこられ、現在事務局員を含め8人で検索作業中(一部は既に検索終了)。追加であと2名に依頼データを送り、計10名で作業する。7月中旬には結果を返せる見通し。
- 具体的な事業紹介にもなり、検索ボランティアをしてみようかという人の参考にもなるので、多摩デポHPに横断検索マニュアルの最新版を載せている。

(5) 第5号議案 (株)カーリルとの共同開発事業について

6月10日、(株)カーリル本社(岐阜県中津川市)を堀事務局長と齊藤事務局次長が訪問、協議を行ってきた。協議内容は、今年度の事業計画の「多摩地域最後の2冊のデータベース」をテスト的に作成する件、及び共同研究を行う場合の手続き等についてである。各自治体の図書館でそれぞれに入力・蓄積されてきている蔵書の書誌データをどう整理し、バーチャルな共同保存をどのように前に進めるか。

①「多摩地域最後の2冊のデータベース」作成について

- ・吉本氏からのアドバイス…完全な「最後の2冊」データベースを作るデータ突合のためには、(各図書館HPに公開されているOPACデータでなく)各図書館の保持しているデータ提供が必要。データベースを作る前に、各図書館が保持する書誌データの整備を図ることが優先ではないか。ISBNが付与されている資料はいかようにも対応できる。ISBNが付与されていない資料の書誌データの整備が課題である。
- ・ISBNが付与されていない資料がまだまだ存在する。地域資料などは、新しくてもISBNがなく、各図書館が独自に書誌データを作成しているため、データの精度にばらつきがあり、

同一資料でも同定が難しい。この問題を解決することが必要である。

②共同研究を行うためには、多摩デポとカーリルで共同研究に関する協定書を交わす

→ なかなか動かない現在の状況下で、共同保存の実現に向けて事態を前に動かしていくためには、ぜひ必要な研究ではないか。共同研究の提案内容についてはさらに検討していく。

(6) 第6号議案 全国図書館大会公募型分科会への参加について

- ・全国図書館大会第100回記念大会が10/31(金)と11/1(土)に明治大学であり、11/1(土)には初の試みとして、公募型分科会が実施される。
- ・前回理事会でこの分科会に参加する方向性は承認され、5月初旬に日本図書館協会に応募企画書を送った。また、その企画で基調講演者として梅澤幸平氏から内諾を得た。
- ・その後「図書館雑誌」5月号に募集概要が発表された。申込みは日図協HP掲載の所定フォームでとある。締切り6/30(月)。そのフォームと規定に則り、応募し直す必要がある。
- ・図書館雑誌には「分科会は午前か午後の「半日」単位、複数団体実施の場合は「1日も可」と記載がある。遠方から基調講演者や先進事例の県立図書館の報告者をお呼びし、地方からの参加者を集めたい企画だが、一日の日程には共催団体が必要。
- ・三多摩図書館研究所(所長:大澤正雄氏)に共催の相談を行なった。午前中に、研究所側から、1970年代の東京都の図書館振興政策によって、飛躍的な市町村立図書館の活動が始まったこと、現在に至る成果と課題の確認、その流れの中に「多摩デポ」の活動があることの講演を入れる。午後に、多摩デポ側の、「全国で県立図書館を中心に具体的に進みつつある共同保存の動きと展望」を組む。全体のタイトルは相談。このような方向で調整中。

(7) 第7号議案 第20回多摩デポ講座について

- ・企画案『多摩地域の図書館行政を支える図書館員に聞く 第一回(案)』(仮題)
- ・主旨:多摩地域の各図書館に具体的にスポットをあて、館長、あるいはそれに準ずる立場の図書館員に自館の運営方針やアピールできるサービス内容、そして資料保存の現状と考え方について話してもらう。この企画を継続していくことを念頭に今回を第一回とする。
基本は、毎回2名の図書館員の方に講師として話をしていただく。
多摩の図書館の現状を具体的に把握すると同時に、資料保存の考え方や実態も把握できる。
共同保存に向けた意識の醸成にもつなげたい。発表館の図書館員や近隣市の図書館員にも呼びかけ、参加を促す。
- ・第一回の講師:坪井茂美氏(府中市立図書館館長)
松島満氏(あきる野市図書館館長)
(両館とも自動出納書庫を持っており、資料保存の実態が他の図書館と異なる点がポイント)
- ・日時:2014年8月4日(月)午後6時30分~
- ・場所:国分寺労政会館 第一会議室(地下)
※多摩デポ通信31号に、この講座のチラシを同封できるように進める。

(8) 第8号議案 多摩デポ通信第31号の内容について

- ・次号は7月中旬発行予定。原稿締切は7/10。
- ・総会報告 記念講演会の報告・感想(手嶋)
- ・町田市横断検索の状況
- ・県立図書館主導の共同保存の動き(連載)(試行中の愛知県に執筆依頼済み)

- ・多摩デポ講座予告（案内チラシを同封する）
- ・全国図書館大会公募型分科会の取り組みの予告
- ・メーリングリストの使い方（広告が送られない方法の紹介など）ほか。

（9）情報交換

・「書誌データ利活用説明会」

……………国立国会図書館は、学校図書館、公共図書館等の職員の方々を対象に、書誌データ利活用説明会を実施します。この説明会では、当館が提供している書誌データを利用しただけのための、具体的な方法を説明します。

東京本館開催

日時：平成 26 年 7 月 25 日（金）14 時～16 時（13 時 30 分から受付開始）

会場：国立国会図書館東京本館 新館 3 階研修室 申込締切：7 月 18 日 17 時

今年度の研修は、以下のサイトで見ることができる。

<http://www.ndl.go.jp/jp/library/training/fy2014/index.html>

→ただし、応募できるのは職員に限るようだ。

・松岡氏の講演のブックレット化について

→多くの課題にふれてお話しされた講演を分かりやすいブックレットにするためには、文字量の制限もあり、何を重点的に盛り込むか、早急に打ち合わせが必要である。

・松岡氏からの提言

→都道府県立図書館の市町村支援については、実は全国の実態が丁寧につかめていない、各図書館の年報など、まず調べられる資料を使ってでも具体的にデータを集めることは有意義と指摘を受けた。全国図書館大会の分科会内容にもつながることではないか。

★ 次回の理事会 8 月 22 日（金）午後 6 時半 国分寺労政会館

☆ 次回の事務局会議 6 月 25 日（水）午後 6 時半 調布市たづくり 11 階 みんなの広場

5 議事録署名人の選任

議事録署名人として 2 名を選任することを諮り、手嶋孝典理事と堀渡理事を選任することを全員異議なく承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2014 年 6 月 17 日

議長 座間 直壯

議事録署名人 堀 渡

議事録署名人 手嶋 孝典